

○ 広島サッカースタジアム探索、第1弾！

広島サッカースタジアムは2023年12月末に完成し、今年の2月に開業して公式試合もすでに数回開催された。私も何度かスタジアムに足を運び、周囲の状況等を把握しつつあるので、現状における評価をまとめてみた。

広島サッカースタジアムの現状

— 昔、建築に携わっていた立場からの評価 —

2021年3月、ゼネコンと設計事務所が組んで設計・施工するデザイン・ビルド方式を採用した公募型プロポーザルにより、大成建設などの共同企業体を選定。プロポーザルの段階で基本設計はほぼ終わっているので、すぐ実施設計に着手し、地下に眠る旧陸軍輜重隊の被爆遺構の発掘調査を終えて、2022年春から本格的な工事に着手し、2023年末に完成している。

1. 設計概要 (広島市のHP 参照)

・設計主旨：中央公園全体の空間づくりとして、広島城やひろしまゲートパークプラザとペDESTリアンデッキでつなげるとともに、太田川の水辺空間との連携を図ることで新たな回遊空間を生み出し、紙屋町・八丁堀地区ともつながる賑わいのある開かれた「まちなかスタジアム」を実現することを目指している。

・配置計画：中央公園の自由・芝生広場に位置し、南に平和記念公園、北に市営基町団地、東に広島城、西に本川(太田川)がある。南北の敷地が狭いため建物が敷地一杯に建つことになり、東西の広場を分断。2階レベルでパークコンコースを設けて東西をつなげているが、効果はいかに？



建物周辺の動線 (広島市のHPより)

南側に幹線道路の城南通りが通っているため交通対策が必要となり、北側は住宅団地なので騒音や安全等の住民対策が求められる。騒音対策は北側の開口部をなくし、安全対策は警備員を増やして通行チェックを実施。

アクセスは四方の各方面から可能だが、メインアプローチは南側のファミリープール脇からスロープによりペDESTリアンデッキ(城南通り)を渡ってくる2階レベルのコンコースへのアクセスである。

・平面計画：1階は、西側ゾーンを運営者や競技者等のエリアとし、東側に2階コンコースからつながるスパイラル広場にサッカーミュージアムを配置。北と南のゾーンは駐車場等になっている。



1階平面図 (広島市のHPより)

2階は、西側がメインスタンド、東側がバックスタンドで観客の主出入口となるフィールドビューテラスとオフィシャルショップ等を配置。南スタンドがホーム用、北スタンドがビジター用。パークコンコースが南・北・東側の3方を巡り、東西の広場をつなぐ役割を果たす。

3階は周りのメインコンコースがある。4階は多様な観客席が用意され、7階はメディア関連エリアとなっている。

・立面計画：南側の両端に大きな開口部を設けて、スタジアムの賑わいをまちに発信しているのが特徴的。これは設計者メンバーの一人、建築家仙田満氏のポーラスな空間を象徴している。屋根の形は鳥が飛び立つ時の翼のような感じで、施設名称「ピースウイング広島」と命名された。



城南通りの西側からの遠景

屋根を支える斜めの柱列と屋根の緩やかな曲線が建物全体を一つにまとめて調和している。

## 2. 建物評価

**\*建物全体から受ける印象** 「まちなかスタジアム」として交通の便の良い中央公園の中に造られ、ファンからは「夢の器」として待ち焦がれたスタジアムが誕生。

「ピースウイング」と呼ばれる屋根のシルエットが遠方からも望まれ、シンボリックな存在として市民に末永く愛されることを期待したい。

ただ、北の住宅団地側から見ると閉ざされた感じの無気質な大壁面はもう少し人間的な温かみのある表情の方が望ましい。サッカースタジアムの誘致に反対した近隣住民がいたことの証であり、スタジアムにとっては不幸なことである。

**\*外部空間** まだ東西の広場が工事中なので、建物周辺のことしかわからないが、2階フロアのパークコンコースはまだ機能していない。東の広場から西側に行くのにわざわざ2階に上がる人がいるか疑問であり、今の状態なら、北側の道路を通過して西側に廻るであろう。

1階の南と北側の駐車場スペースを少し割いて、ピロティとし人の行き来を自由にすれば、東西をつなぐことは可能であった。有料駐車場にして少しでも収入を確保したいのであろうが、市民のための公園なのに内外部を含めて多くの駐車スペースに割くこと自体、広島市中央公園としての認識が少し足りないのではないかと。

敷地境界に建物が全面的に近づいているのは景観的にも緊急避難上も問題を抱えている。中央公園の中に立地するのに緑の中に佇んでいないのは、誠に残念である。

**\*内部空間** 3階の周回りコンコースを歩いたが、ときめく空間はあまりない。試合の開催中は人の流れで一杯になるのだろうが、混雑でしかないのではないかと。

サッカーは野球と違って、試合中は目が離せないところがあり、また試合時間も短いので、場内で過ごす時間や空間は少ないと思う。寛ぎながら観戦できる席もあるようだが、多様な観戦席がどの程度必要だったかは疑問に思う。

ミュージアムやグッズショップ等も相当な魅力を備えなければ、リピーターをつかむのは難しいのではないかと。

**\*今後の展望** 今はまだサッカーの試合日以外は閑散としており、目新しいスタジアムを物珍しく見に来る人がいる程度である。東西の広場がオープンして店舗などが開き、日常的に人の流れが生まれてくれば、サッカースタジアムに立ち寄る人も増えるだろう。このエリアで年間200万人の集客を目標にしているが、ゲートパークプラザほど立地に恵まれていないので、クリアするのは難しそうである。



相生橋越えの遠景



南側からのメインアプローチ



2階メインコンコース



スタジアム内景



3階メインコンコース



2階東側メインコンコース壁画  
人気漫画「キャプテン翼」

### <コメント>

まだ試合を観戦したことがないので、場内がどんな盛り上がりなのかかわからないが、得点した時の場外で聞こえる歓声は相当なものである。周りの住民の反応を聞いてみたい。

問題は試合のない日にどれだけ集客できるかだが、サッカー以外の利用が可能なフレキシブルな形にするには、制約が多かったのであろう。維持管理にも多大な費用がかかりそうなので、黒字経営が継続的に維持できるか否かが、当面の課題となる。

本プロジェクトの成否は、もう少し時間をかけて検証する必要があるようだ。